

大学名	芦屋大学
授業形態	講義
対象学部学科・科目区分	全学部（臨床教育学部、経営教育学部）
対象学年	全学年
科目名等	企画力基礎講座
概要	企画作成の基礎から応用までポイントになる項目を講じながら、テーマを提供し、その後の講義で発表する機会を設け、学生たち間でその企画の講評を行います。
キーワード	企画力、プレゼンテーション、情報収集
学習目標	アイデアを企画に結びつける力。
アウトプットイメージ (成果目標)	企画提案
テーマ提供先への希望	○どのようなテーマを希望するか 大学生が身近に感じることが出来るテーマをお願いいたします。 ○依頼内容 講義室でのテーマ説明、企画書作成のポイント、最終評価などの数回の来学をお願いできればと思います。
テーマ提供先のメリット (貢献できそうなこと)	新たな商品企画アイデアを得られる、社員研修、会社PR。
連携するコマ数	15コマ中数コマ
開設時期	後期
人数規模	20名程度
参考資料	シラバス（テーマ提供いただける場合は記載内容から変更可）
参考URL	<a href="http://www.ashiya-u.ac.jp/monkasho_iigvo/">http://www.ashiya-u.ac.jp/monkasho_iigvo/</a>
備考	
図、写真	

科目情報

科目	企画力基礎講座			開講	後期	学年	全学年	単位	2	区分	専門		
担当教員	松本達也	担当形態	単独	教育	選択	国際	選択	児童	選択	経営	選択	教職課程	免許法施行規則に定める科目区分
授業の到達目標	企画力はトレーニング次第でいくらでも身につけることができる。どうすればアイデアが閃くのか。閃いたアイデアをどのようにして企画に結びつけるのか。本講座ではどのように考えればよいのかを筋道を立てながら解説していくことにする。最終的には自らのアイデアを発想し、カタチにする技術を身につけることを目標とする。			履修条件	開講学年のみ(必修科目は除く)							免許状の種類	
					後期も履修することが望ましい							必修・選択	
					教職・資格取得・コース履修者のみ								
				授 業 計 画						授業計画の概要と方法			
授業の概要	基礎から応用までポイントになる項目を講じながら、毎回、テーマを提供し、次の講義で発表する機会を設け、学生たち間でその企画の講評を行う。 *授業時間外・準備学習(予習・復習)等 課題の研究及び制作。			1	考える力							<ul style="list-style-type: none"> <li>・知的生活術。情報収集術(新聞の読み方、読書の仕方、メモの取り方)。ものの見方。</li> <li>・文章の原則。書くことと考えること。情報の捨て方。</li> <li>・テーマを決める→調べる→まとめる→発表する。</li> <li>・逆を考え、やってみる。</li> <li>・問題を発見し、深掘りをする。クレームは宝箱。</li> <li>・逍遥派のススメ。</li> <li>・アイデアメモ・アイデアノート。</li> <li>・新聞・書店・街での新鮮体験(街の歩き方)。</li> <li>・生情報をゲットせよ。</li> <li>・閃きは天の声。一人ブレンストーミング。</li> <li>・情熱と思い込み。</li> <li>・ウケるアイデア5原則。</li> <li>・アイデアをまとめる技術。</li> <li>・プレゼン技術。</li> <li>・各自の企画発表及び講評。</li> </ul>	
授業時間外・準備学習(予習・復習)等	配布レジュメ。 必要に応じて講義の中で指示する。			2	表現する力①								
				3	表現する力②								
				4	発想の転換①								
				5	発想の転換②								
				6	行動力①								
				7	行動力②								
				8	異文化体験①								
				9	異文化体験②								
				10	企画のヒント①								
				11	企画のヒント②								
				12	ウケる企画①								
				13	ウケる企画②								
				14	伝える技術								
				15	課題発表								
成績評価	日常点(課題提出)、出席点、最終講義での発表。			テキスト								参考文献	